



JR花咲線糸魚沢駅最終営業日

糸魚沢駅103年の歴史に幕

JR花咲線の糸魚沢駅が春のダイヤ改正に伴い、3月11日に最終営業日を迎えました。この日は、別れを惜しむ地域の人や鉄道ファンが訪れ、鉄道愛好家の『釧路臨港鉄道の会』や『夢空間☆花咲線の会』の皆さんが『ありがとう おつかれさま糸魚沢駅』と書かれた横断幕を掲げて出迎えをしました。

糸魚沢駅は大正8年(1919年)11月25日に開設され、昭和35年(1960年)には年間乗車人員が3万5911人、発送貨物は8918トンに上り、物流の拠点となりました。



海事記念館こどもクラブ

分の好きな色でバスボムづくり

3月5日、海事記念館において『バスボムでぽっかぽか～化学反応を体験しよう!』が行われ、海事記念館こどもクラブのメンバー9人が参加しました。

『バスボム』は、重曹とクエン酸^{じゅうそう}の化学反応を利用した固形入浴剤で、お湯に浸すとシュワシュワと炭酸が発生します。材料を量り、水を少しずつ加えながら固さを確認し、数種類の食紅を混ぜて色づけし、型に入れ、乾燥させてバスボムが完成。化学反応を学びながら自分好みのバスボムを作りました。



冬の子ども読書推進事業『ぬいぐるみのおとまり会』

ぬいぐるみと一緒に絵本を読んだよ

3月5日、厚岸情報館で、冬の子ども読書推進事業『ぬいぐるみのおとまり会』が開催されました。

ぬいぐるみにちなんだ絵本や紙芝居の読み聞かせなどが行われ、子ども達はそれぞれ持ち寄ったぬいぐるみと一緒におはなし会を楽しんでいました。

おはなし会終了後、ぬいぐるみは子ども達の手を離れ、おとまり会に参加。しばしの別れを惜しむ子ども達の様子が印象的でした。



学芸員の歴史教室

岸の歴史に思いを巡らす

3月19日、海事記念館プラネタリウム室において学芸員の歴史教室が開催されました。

『厚岸神岩峯跡及び竪穴群について』と題して小田島学芸員が令和3年度に実施されたドローンを使用したレーザー測量調査について説明。今回の調査で438基の竪穴住居跡が確認され、町内にあるチャシ(アイヌ語で『建築物』の意味)と竪穴群の関係について、2つの仮説を発表しました。参加者は写真や資料を見ながら説明を聞き、思いを巡らせていました。

